
finaloid

ame*

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

finaloid

【NZコード】

N5972U

【作者名】

ame*

【あらすじ】

ヴァーチャルとリアルの世界に相互滲出する悪意。

これは、Twitterと連動した作品です。
よろしければ、こちらもご覧になってください。

<http://twitter.com/finaloid>

finaloid is starting now.

311・・・。もうネタとしては古いな。でも、物語には必ず始まりがあるから、何かもつてこなきゃならない。

で、とにかく、俺は、311に絶望したって「」ことだ。どういう意味か？もちろん、被災者さんたちがお気の毒だとか、日本人は一致団結しようとか、政府がどうこうどころじやない。

911と311。よく対比されるが、ホロスコープ（）の言葉は適當でない？）の対極にあつて意味ありげだから？　占星学は複雑かつ精緻なシステムだし、そんな単純に考えるのはどうかと思うが、集合的無意識の中にそういう要素が存在するのかもしぬれない。世界の終わりについての・・・。

911の崩落するWTC、煙に包まれたペントAGON。

テレビを前にして、その時、ちょっととやって来たかもしれないタルシスの破片。もしかしたらという期待。

でも、ハイアーセルフがきわめて冷静だったのは予期していたことだろう。カタストロフィーは来ない。結局のところ世界は変わらない。

あの日、電車が止まつた首都圏で暴動は起きなかつた。羊飼いがいなくても電気羊の群れは整然としている。

肉体に有り余る危険さを漲らせてストリートを徘徊していたギャングたち、萌芽ばかりでしかないむきだしの欲望を溜め込んで異臭を放つっていた下層民の姿を、いつものように見かけることはなかつた。

ところで、あなたは、まだ精神の自由度が足りない。

無意識の海に潜りなさい。

波の文様が踊りながら通り抜けてゆく水の中。濃度の重みの中で見上げた水面は、いつも見ることがなかつた、この世界の仮面の奥だ。

finaloid。

私を何らかの名前で呼ぶ必要があつて、それを求めるなら、これを使つてもいい。

ただ私には特定の人格はないし、finaloidは、実はもつと広範な、いうならば概念を更に超えたものであらわす記号なのだけれどね。

それは追々わかつてくるだろう。あなたにその資質があればだが。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5972u/>

finaloid

2011年10月3日12時18分発行